ONKYO®

コンパクトディスクプレーヤー

C-777

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

主な特長

■デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する新回路、「VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）」を搭載し、飛躍的な音質向上を実現

■デジタル出力信号が音質回路に与える影響を最小限に抑える独自の回路設計「Direct Digital Path」を採用、これまでにないクリアな音像と洗練された音質を再現

■超高精度クロック発振器を採用

■デジタルサーボを採用、ディスクごとに最適値のサーボ量を自動調整

■デジタル出力端子としてOPTICAL（光）2系統とCOAXIAL（同軸）1系統

■削り出し金メッキピンジャック採用

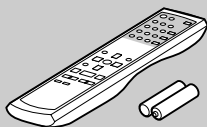
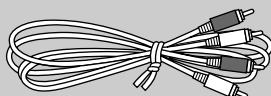
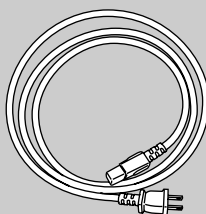
■極太電源コード

■192kHz/24Bit D/Aコンバーター搭載

■MP3 CD再生可能

付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（ ）内の数字は数量を表しています。

●リモコン(RC-625C) .... (1)
●乾電池(単3形 R6) .... (2)

●オーディオ用ピンコード(1m) .... (1)

●電源コード(2m) ..... (1)

●RIケーブル(80cm) .... (1)

RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

●取扱説明書 .... （本書1）
●保証書 .... （1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 ...... （1）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

はじめに

接続をする

CDやMP3を再生する

設定をする

その他

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について
この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。
- 本機を、逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔、ディスクの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
●お子さまがディスクトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

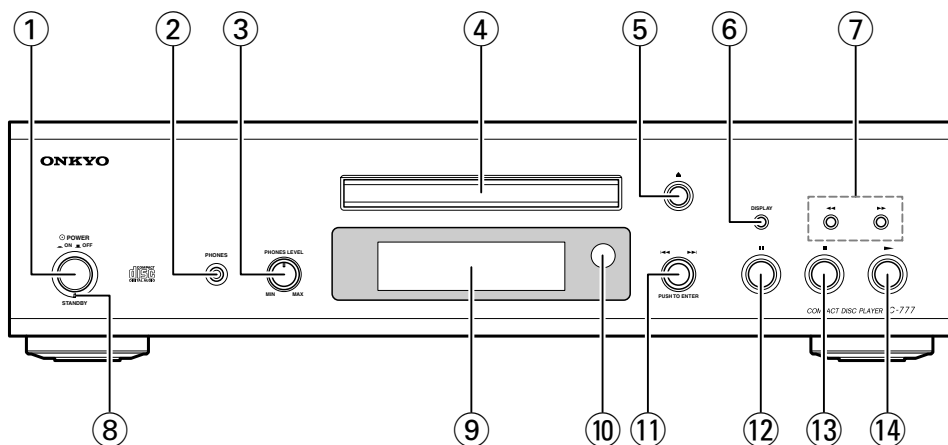
●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

① POWERスイッチ〔14〕
お買い上げ時は、OFFの状態になっています。
ONの位置にすると、本機の電源がオンになります。
OFFの位置にすると、本機の電源がオフになります。

② PHONES端子
標準プラグのステレオヘッドホンを接続します。

③ PHONES LEVELつまみ
ヘッドホンの音量を調整します。右に回すと音量が上がり、左に回すと下がります。

④ ディスクトレイ〔14〕
ディスクをセットします。

⑤ ▲ボタン〔14〕
ディスクトレイを開閉します。

⑥ DISPLAYボタン〔21〕
表示部の表示を切り換えます。

⑦ ◀◀/▶▶ボタン〔15〕
再生を早送り、早戻しします。

⑧ STANDBYインジケーター〔14〕
本機がスタンバイ状態のときに点灯します。

⑨ 表示部
次ページをご覧ください。

⑩ リモコン受光部〔10〕
リモコンからの信号を受信します。

⑪ ❙◀◀/▶▶❙ダイヤル〔15〕
左右に回して前後の曲を選びます。押すと選んだ曲を再生します。
MP3ディスクのときは、ナビゲーションにも使用します。

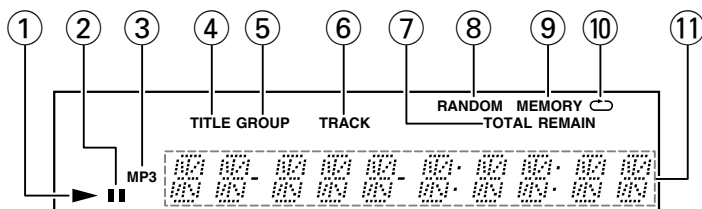
⑫ ❙❙ボタン〔15〕
再生を一時停止します。

⑬ ■ボタン〔14〕
再生を停止します。

⑭ ▶ボタン〔14〕
ディスクを再生します。

本体、リモコンボタンの名前と働き

表示部

① ▶表示
ディスク再生時に点灯します。

② II表示
一時停止中に点灯します。

③ MP3表示
MP3ディスク再生時に点灯します。

④ TITLE表示
MP3ファイルのタイトル名（ID3タグ）を表示しているときに点灯します。

⑤ GROUP表示
MP3ディスクの中のグループ（フォルダ）番号を表示しているときに点灯します。

⑥ TRACK表示
ディスクの再生トラック、総トラックなどを表示しているときに点灯します。

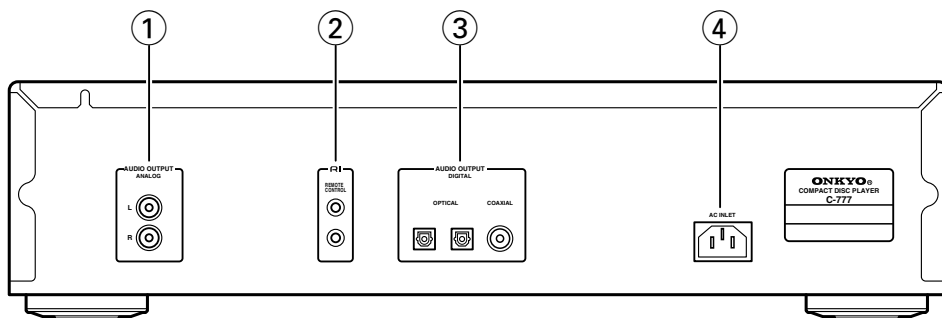
⑦ TOTAL REMAIN表示
再生中の曲の残り時間が表示されているときは「REMAIN」が、ディスクの残り時間が表示されているときは「TOTAL REMAIN」が点灯します。

⑧ RANDOM表示
ランダム再生するときに点灯します。

⑨ MEMORY表示
メモリー再生が設定されているときに点灯します。

⑩ ⮌ 表示
リピート再生するときに点灯します。

⑪ 時間表示部
ディスクの再生時間、残り時間、グループ番号（フォルダ番号）、タイトル名などを表示します。

後面パネル

① AUDIO OUTPUT（ANALOG）端子
付属のオーディオ用ピンコードを使って、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。

② RI REMOTE CONTROL端子
RI端子のあるオンキヨー製アンプなどと接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけでは連動しません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

③ AUDIO OUTPUT DIGITAL（OPTICAL/COAXIAL）端子
OPTICAL端子は市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って、COAXIAL端子は市販の同軸デジタルケーブルを使って、録音機器やアンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。3つの端子は、同じデジタル音声を出力します。

④ AC INLET
付属の電源コードを接続します。

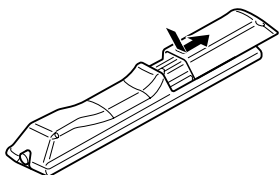
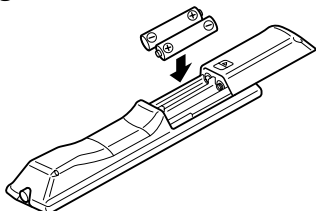
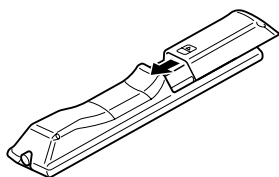
接続については、13ページをご覧ください。

リモコン

〔　〕内のページに主な説明があります。

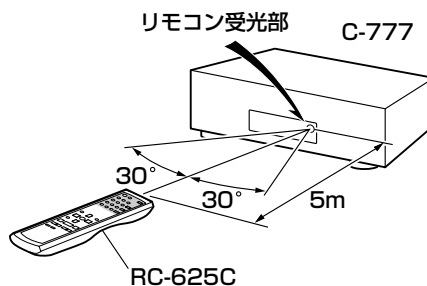
リモコンについて

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向にずらして開ける

2. 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池2個を＋（プラス）と−（マイナス）を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

ディスクについての予備知識

再生できるディスクについて

本機は以下のディスクに対応しています。

ディスクの種類	マーク	フォーマット/ファイルタイプ
Audio CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	PCM
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	Audio CD MP3
	COMPACT disc Recordable	MP3
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	Audio CD MP3
	COMPACT disc ReWritable	MP3
CD Extra		Audio CD（Session 1） MP3（Session 2）

- ディスクレーベル面に上記のマークの入ったものを使用してください。
- 再生可能なディスク以外のディスクを読み込ませたり再生したりしないでください。「ノイズが出る」、「正常に動作しない」などの現象がおきます。

CD-R/CD-RWの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、MP3の音楽データ、が記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3の再生について

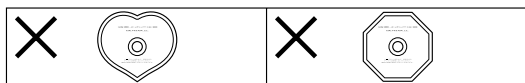
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。本機が対応しているフォーマットは、Mode 1, Mode 2 XA Form 1です。
- フォルダは8階層まで対応しています。
- MPEG1/MPEG2オーディオレイヤー3のサンプリング周波数8kHzから48kHz、ビットレート8kbpsから320kbpsで記録されたファイルに対応しています（128kbpsを推奨しています）。これ以外のファイルは再生できません。
- 固定ビットレートを推奨しますが、可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate) 8kbpsから320kbpsで記録されたファイルには対応しています (ただし再生できる場合でも表示部の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- 1枚のディスクにつき、フォルダとファイルをあわせて499個まで認識します。ただし、フォルダは99個までです。
  これらを越えるファイルやフォルダは再生できません。また、ファイルやフォルダの構成が複雑な場合は、読み込みや再生ができないことがあります。
- ディスク名、ファイル名、フォルダ名は32文字まで認識できます。
- ひとつのファイルで表示できる再生時間は、99分59秒までです。
- 再生残り時間は、表示されません。
- ファイル名、フォルダ名（拡張子除く）は表示部に表示されます。
- エンファシスには対応していません。
- シングルセッションを推奨します。マルチセッションにも対応していますが、ディスクによっては読み込みに時間がかかったり、読み込みできなかったりすることがあります。
- CD Extraの音楽データは再生できますが、MP3データを再生できるように本機を設定することもできます。ディスクにMP3データがないときは、設定に関係なく音楽データを再生します。
- ID3タグ情報は、Version1.0/1.1、2.2/2.3/2.4に対応しています。Version2.5とそれ以上は対応していません。
  通常は、本機の「ID3VER 1」の設定にかかわらず、Version2.2/2.3/2.4を優先します。
- ID3Version2タグ情報については、ファイルの先頭の情報を認識しますので、タイトル、アーティスト名、アルバム名のみのID3 タグ情報を推奨します。圧縮されていたり、暗号化されていたり、同期していないID3タグ情報は表示されません。
- ID3タグ情報は、ファイルによっては31文字しか表示できないことがあります。

ディスクの取り扱いについて

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- **複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について**

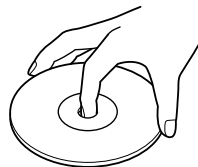
複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って機器の故障の原因となることがあります。

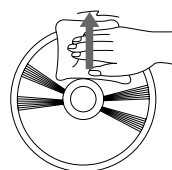
- **レンタルCDの注意について**

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

●取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

●お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

●保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところ、極端に温度の低いところや、湿度の高いところはさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

●結露について

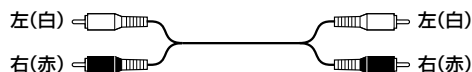
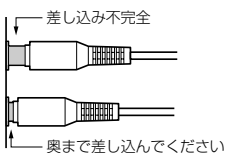
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

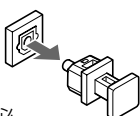
接続をする

機器を接続する前に

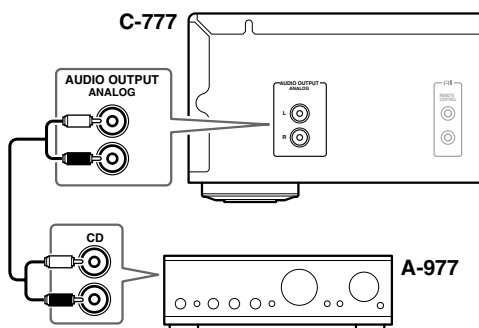
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 入力端子は赤いコネクターを右チャンネル（Rの表示）、白いコネクターを左チャンネル（Lの表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。

光デジタル出力端子について

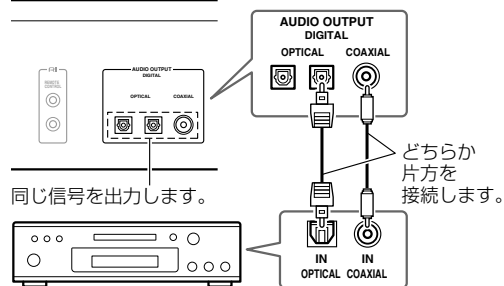
本機の光デジタル出力端子には、保護キャップが取り付けられています。接続時は取りはずして、大切に保管してください。端子を使用しない場合は、必ずキャップを元どおりに取り付けてください。

アンプとアナログ接続をする

本機のAUDIO OUTPUT ANALOG端子とアンプのアナログ音声入力端子を接続します。

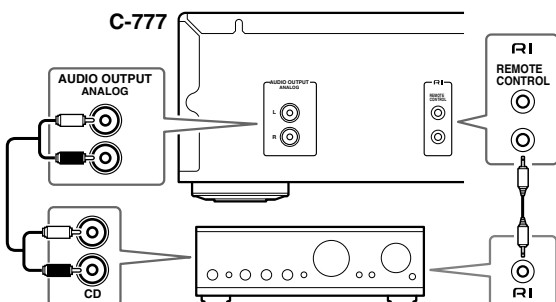
例：オンキヨー製アンプ（A-977）との接続

アンプや録音機器とデジタル接続する

デジタル音声入力端子のあるアンプと接続するときや、デジタル録音するときは、この接続をしてください。

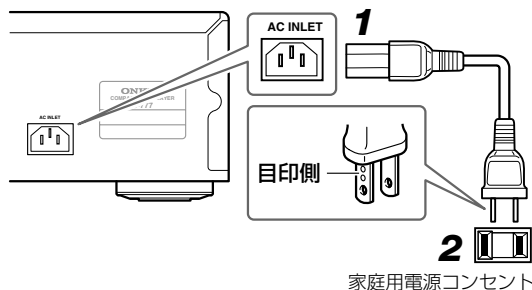
- OPTICAL端子とCOAXIAL端子は全て同じ信号を出力します。

本機のAUDIO OUTPUT DIGITAL端子とアンプや録音機器のデジタル音声入力端子を接続します。

RIケーブルの接続

付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたオンキヨー製AVアンプやAVレシーバーなどを接続すると、AVアンプやAVレシーバーなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- **RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。**

電源コードを接続する

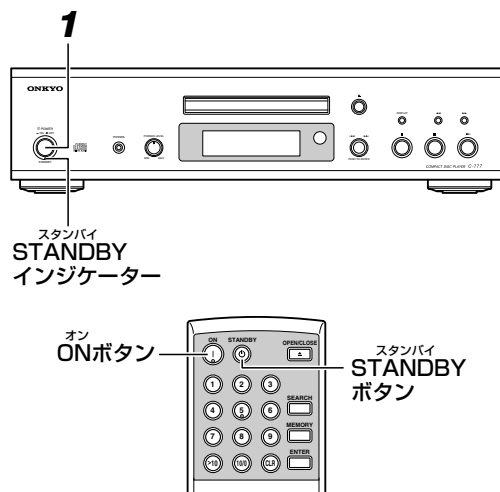
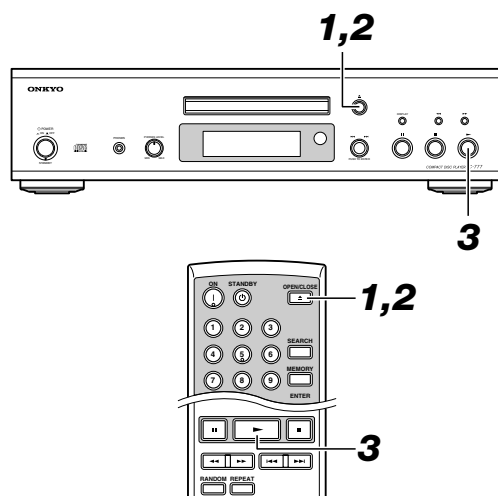
1. はじめに、本機のAC INLETに本機に付属の電源コードを接続します。

2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コンセントは極性の管理がされています。
電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。
家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

CDやMP3を再生する

電源を入れる

1

POWERスイッチを「▬ ON」の位置にする

本機の電源がオンになります。

電源がオンの状態からスタンバイ状態にするには

リモコンのSTANDBYボタンを押します。

- STANDBYインジケーターが点灯します。

スタンバイ状態から本機の電源をオンにするには

リモコンのONボタンを押します。

- STANDBYインジケーターが消灯します。

本機の電源をオフにするには

POWERスイッチを「▮ OFF」の位置にします。

！ヒント

一度電源をオンにした後は

- 電源をオン状態でPOWERスイッチをOFFにしたときは、次にPOWERスイッチをONにすると、本機の電源がオンになります。
- スタンバイ状態でPOWERスイッチをOFFにしたときは、次にPOWERスイッチをONにすると、本機はスタンバイ状態になります。

再生をする

1

本体
または
リモコン

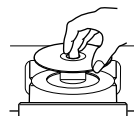
▲ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。

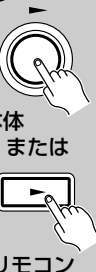
ディスクをディスクトレイにセットする

印刷面を上にしてディスクトレイの上に置きます。8cmCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

2

本体
または
リモコン

▲ボタンを押してディスクトレイを閉める

3

本体
または
リモコン

►ボタンを押す

再生が始まります。

再生を止めるには

■ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

▲ボタンを押します。

再生を一時停止する

❙❙（ポーズ）ボタンを押す

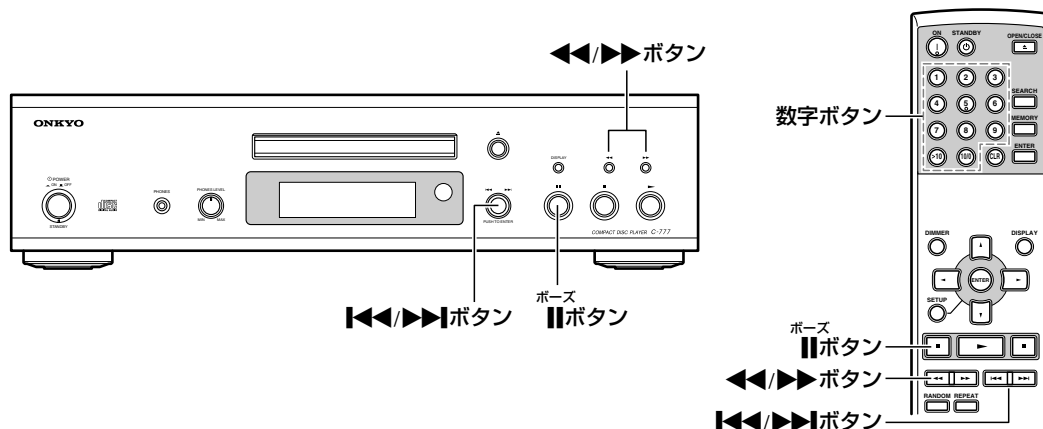
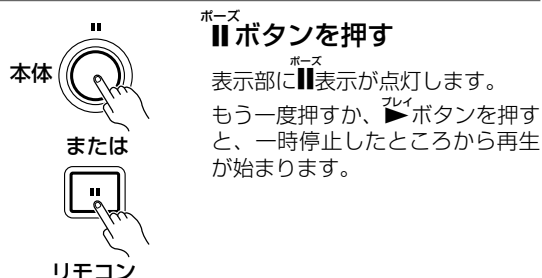
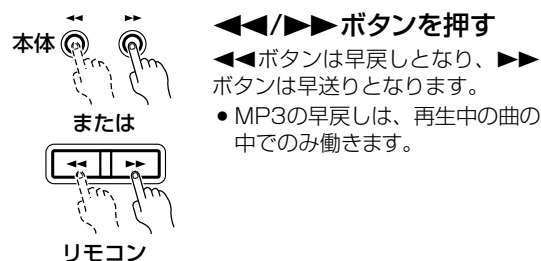
表示部に❙❙（ポーズ）表示が点灯します。

もう一度押すか、▶（プレイ）ボタンを押すと、一時停止したところから再生が始まります。

早送り/早戻しをする

◀◀/▶▶ボタンを押す

◀◀ボタンは早戻しとなり、▶▶ボタンは早送りとなります。

- MP3の早戻しは、再生中の曲の中でのみ働きます。

聞きたい曲を選ぶ

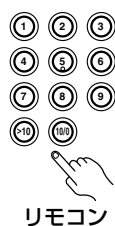
リモコンの|◀◀/▶▶|ボタンを押す

再生中に|◀◀ボタンを1回押すと今聞いている曲の頭に戻り、続けてもう1回押すと前の曲に戻ります。▶▶|ボタンを押すと次の曲に進みます。

停止中は、|◀◀/▶▶|ボタンで選曲し、▶（プレイ）ボタンを押すと再生が始まります。

- リモコンの▲/▼ボタンでも曲を選べます。ENTER（エンター）ボタンを押すと再生を始めます。
- 本体では|◀◀/▶▶|ダイヤルを左に回すと今聞いている曲の頭に戻り、もう一度回すと前の曲に戻ります。右に回すと次の曲に進みます。

  停止中は、|◀◀/▶▶|ダイヤルで選曲し、|◀◀/▶▶|ダイヤルを押すと再生が始まります。

  再生中に|◀◀/▶▶|ダイヤルを押すと、次の曲に進みます。

聞きたい曲を指定する リモコン

リモコンの数字ボタンを押して曲番を指定する

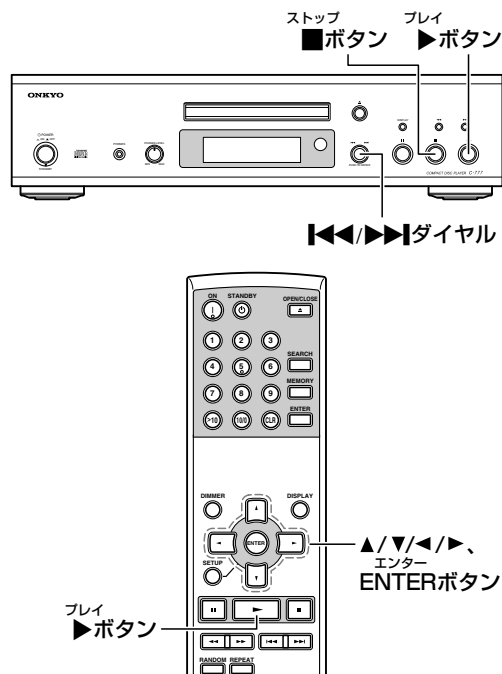
指定した曲の再生が始まります。

10曲目を選ぶには⑩/0を押します。

12曲目を選ぶには>10、①、②と押します。

20曲目を選ぶには>10、②、10/0と押します。

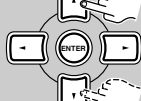
- MP3の場合の選曲方法は、17ページをご覧ください。

CDやMP3を再生する

MP3のトラックを選ぶ
（|◀◀/▶▶|ダイヤルで選ぶ）

この方法では、階層表示をしないで曲を選びます。曲を含む全グループ（フォルダ）が同じ階層で表示されます。停止中、再生中に操作します。

1

本体

または

リモコン

再生したいトラックを選ぶ

|◀◀/▶▶|ダイヤルを回すと、トラックが選べます。
グループ（フォルダ）をまたいで選曲できます。

！ヒント

再生中は、リモコンの▲/▼ボタンでも操作できます。

2

本体

または

リモコン

|◀◀/▶▶|ダイヤルまたはリモコンのENTER（エンター）ボタンを押す

選んだトラックの再生が始まります。
- 再生中に押すと、次のトラックに進みます。

！ヒント

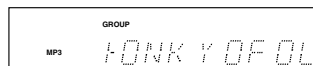
▶（プレイ）ボタンでも操作できます。

MP3のトラックを選ぶ（グループモード）

グループモードでは、グループ（フォルダ）を選んでからMP3のトラックを選びます。

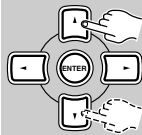
1

停止状態で、|◀◀/▶▶|ダイヤルを押す

最初のグループ（フォルダ）が表示されます。

ナビゲーションモード（ROOTと表示）（☞17ページ）に入ってしまうときは、設定メニューの「JOG MODE（ジョグ モード）」の設定が「NAVI（ナビ）」になっています。
設定が「NAVI」のときは、停止状態で|◀◀/▶▶|ダイヤルを押し続けるとグループモードに入ります。

2

本体

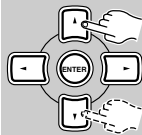
または

リモコン

選びたいトラックのあるグループ（フォルダ）を選び、トラックを選ぶ

|◀◀/▶▶|ダイヤルまたはリモコンの▲/▼ボタンを押すと、ディスク内のグループ（フォルダ）が順番に表示されます。
- |◀◀/▶▶|ダイヤルまたはリモコンのENTERボタンを押すと、グループ（フォルダ）内の最初のトラックが表示され、|◀◀/▶▶|ダイヤルを回す（またはリモコンの▲/▼ボタンを押す）と、グループ（フォルダ）内のトラックが順番に表示されます。
- 他のグループを選択したいときは、本体の■（ストップ）ボタンを押すか、リモコンの◀ボタンを押すと、手順が1つ戻ります。

3

本体

または

リモコン

|◀◀/▶▶|ダイヤルまたはリモコンのENTERボタンを押す

選んだトラックの再生が始まります。

！ヒント

▶（プレイ）ボタンでも操作できます。

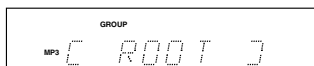
MP3のトラックを選ぶ（ナビゲーションモード）

ナビゲーションモードでは、階層を表示して曲を選びます。停止時に操作します。

1

停止状態で、⏮/⏭ダイヤルを押し続ける

表示部に「ROOT」と表示されます。

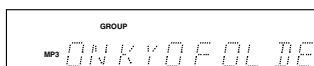
GROUP
MP3 [ROOT]

グループモード(☞16ページ）に入ってしまうときは、設定メニューの「JOG（ジョグ） MODE（モード）」の設定が「NAVI（ナビ）」になっています。設定が「NAVI」のときは、停止状態で⏮/⏭ダイヤルを押すと、ナビゲーションモードに入ります。

- 停止中にリモコンの◀/▶/▲/▼ボタンまたはENTER（エンター）ボタンを押してもナビゲーションモードに入ります。

2

⏮/⏭ダイヤルまたはリモコンの▶ボタンを押す

ROOTの下の最初のグループ（フォルダ）名が表示されます。グループ（フォルダ）がないときは曲名が表示されます。

GROUP
MP3 ONKYOFOLDE

- ⏮/⏭ダイヤルを回す（またはリモコンの▲/▼ボタンを押す）と、同じ階層にあるグループ（フォルダ）やトラックが選べます。
- グループ（フォルダ）選択中に⏮/⏭ダイヤルまたはリモコンの▶ボタンを押すと、階層が1つ下がります。

！ヒント

本体の■（ストップ）ボタンまたはリモコンの◀ボタンを押すと階層が1つ戻ります。

3

または

トラックを選んで⏮/⏭ダイヤルまたはリモコンのENTER（エンター）ボタンを押す

選んだトラックの再生が始まります。

！ヒント

- ▶（プレイ）ボタンでも操作できます。
- グループ（フォルダ）選択中に▶（プレイ）ボタンを押すと、グループ（フォルダ）のはじめのトラックを再生します。

MP3のグループ（フォルダ）またはトラックを選ぶ（サーチモード）

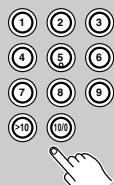
1

停止中にリモコンのSEARCH（サーチ）ボタンを押して、GROUP（グループ）表示の下に「－」を表示させる

GROUP
MP3 －

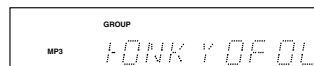
- ＞10ボタンをくり返し押しても操作できます。

ディスクの中に10以上のグループ（フォルダ）があるときは、「－－」になります。

2

数字ボタンでグループ（フォルダ）番号を入力する

例）
3番：3
25番：2、5
選んだグループ（フォルダ）名が表示部に表示されます。

GROUP
MP3 ONKYOFOL

3

再生したいグループ（フォルダ）が表示されたら、ENTERボタンを押す

4

リモコン

数字ボタンで曲番を入力する

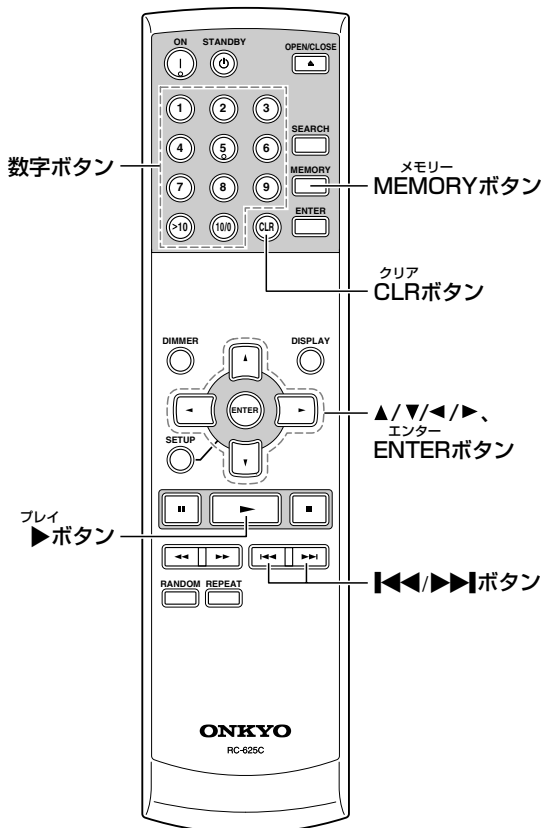
再生が始まります。

- グループ（フォルダ）内に100曲以上の曲があるときは、以下のように選曲します。
  例）
  32曲目：＞10、10/0、3、2
  132曲目：＞10、1、3、2

CDやMP3を再生する

予約再生する(メモリー再生)

ディスクの中の聞きたい曲やグループ(フォルダ)(MP3のみ)を選び、聞きたい順に再生します。
予約できる曲数は25曲までです。

1

MEMORY

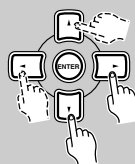
リモコン

メモリーモードにする

停止状態で、リモコンのMEMORY(メモリー)ボタンを押し、MEMORYインジケーターを点灯させます。

MEMORY

メモリー MEMORY
インジケーター点灯

2

リモコン

MEMORY

リモコン

メモリーする曲やグループ(フォルダ)を選ぶ

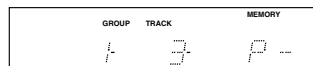
音楽CDの場合

数字ボタンを使って曲を選ぶと予約されます。

- ▲/▼ボタンで曲を選び、MEMORYボタンを押しても予約されます。

MP3の場合

リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで、グループ(フォルダ)とトラックを選び、MEMORYボタンを押します。

- ▲/▼ボタンを押すと、グループ(フォルダ)またはトラックが順番に表示されます。
- ◀/▶ボタンを押すと、階層が上下します。
- グループ(フォルダ)だけを選んでMEMORYボタンを押すと、グループ(フォルダ)が予約されます。

メモリーを1つ戻って消したいときはCLR(クリア)ボタンを押します。最後の予約曲から順番に削除されます。

3

リモコン

ENTER(エンター)ボタンを押す

予約した曲の再生が始まります。
▶(プレイ)ボタンでも操作できます。

- 再生中に▼または⏭ボタンを押すと、次の曲へ移ります。
- 再生中に▲または⏮ボタンを押すと曲の先頭に戻り、続けて2回▲または⏮ボタンを押すと前の曲へ戻ります。
- グループ(フォルダ)を予約して、そのグループ(フォルダ)を再生しているときは、リモコンの数字ボタンで再生するトラックを選ぶことができます。

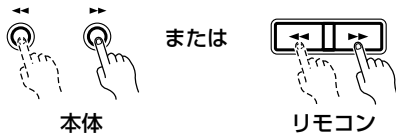
予約された曲をすべて再生すると、停止します。

ご注意

- 25曲を越える曲を予約しようとすると、表示部に"FULL"と表示され、予約することはできません。
- 予約した曲の再生時間合計が99分59秒を越えるときは、表示部に"--:--"と表示されます。(再生には影響しません。)
- MP3は、再生時間合計は表示されません。
- ディスクトレイを開けると予約は消去されます。

予約を確かめるには

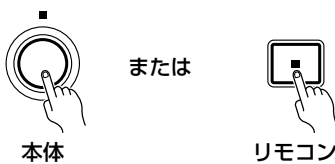
または

本体　リモコン

メモリー再生停止中に ◀◀/▶▶ ボタンを押す

◀◀/▶▶ボタンを押すたびに予約順に予約内容が表示されます。
■（ストップ）ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

メモリー再生を止めるには

または

本体　リモコン

■（ストップ）ボタンを押す

予約を間違えたときは

リモコン

停止状態でリモコンの CLR（クリア） ボタンを押す

押すたびに最後の予約曲から順に取り消されます。

すべての予約を取り消すには

リモコン

リモコンのMEMORY（メモリー）ボタンを押す

表示部のMEMORY表示が消灯します。
予約がすべて取り消され、メモリー再生は解除されます。

- ▲（オープン/クローズ）ボタンでディスクトレイを開くと、予約はすべて取り消されます。

1トラック、1グループ（フォルダ）メモリー再生

曲または1グループ（フォルダ）（MP3ディスクのみ）だけメモリー再生をします。

1トラックをメモリー再生する

1 メモリー再生したい曲を再生する

曲の選びかたは、15〜17ページをご覧ください。

2

リモコン

リモコンのMEMORYボタンをくり返し押して、MEMORY（メモリー）インジケーターと「MEMORY-TRK（トラック）」を表示させる

1グループ（フォルダ）をメモリー再生する（MP3ディスクのみ）

1 メモリー再生したいグループ（フォルダ）に含まれるトラックを再生する

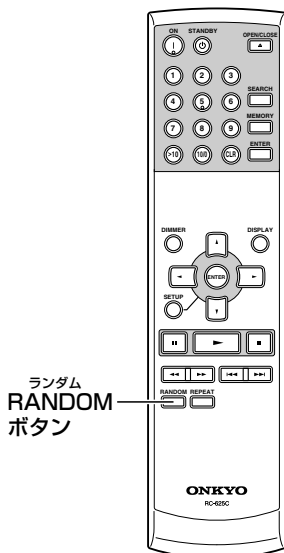
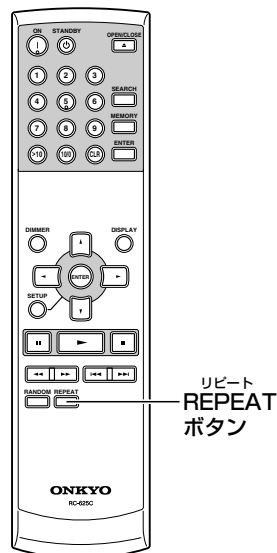
グループ（フォルダ）、トラックの選びかたは、15〜17ページをご覧ください。

2

リモコン

リモコンのMEMORYボタンをくり返し押して、MEMORY（メモリー）インジケーターと「MEMORY-GRP（グループ）」を表示させる

再生中にリモコンの数字ボタンでトラックを選ぶこともできます。

順不同に再生する(ランダム再生) リモコン

RANDOMボタンを押す

表示部のRANDOM表示が点灯し、ディスクに入っている全曲を順不同に並べ変えて再生します。

ランダム再生を解除するには
もう一度RANDOMボタンを押して、RANDOM表示を消します。または、■ボタンを押して再生を停止してもランダム再生は解除されます。

！ヒント

ランダム再生中
曲間に自動的に3秒間の無音部分が入ります。

メモリー再生＋ランダム再生
予約曲を指定してRANDOMボタンを押すと、予約曲だけを順不同に並べ変えて再生します。

ご注意
ランダム再生中に⏮ボタンで前の曲に戻ることはできません。

くり返し再生する(リピート再生) リモコン

REPEATボタンを押す

🔁表示が点灯します。
再生中に押すか、または停止中に押してから►ボタンを押します。

- 全曲再生し終わったら、ディスクの始めに戻ってくり返し再生します。

リピート再生を解除するには
REPEATボタンを押して、🔁表示を消します。

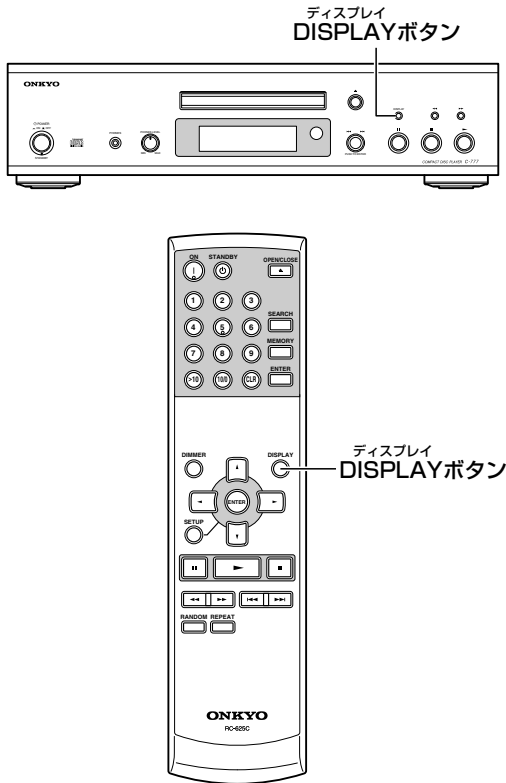
！ヒント

1曲だけをくり返すには
先にくり返したい曲を予約（18ページ）して、リピート再生します。

メモリー再生＋リピート再生では
予約曲だけが予約順にくり返し再生されます。

ランダム再生＋リピート再生では
全曲の再生が終了するたびに、あらためて順序を入れ替えて、くり返し再生されます。

表示部の情報を切り換える

再生中に本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

本体
DISPLAY

または

DISPLAY

リモコン

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

ボタンを押すたびに表示部の情報が次のように切り換わります。

例：2曲目再生中

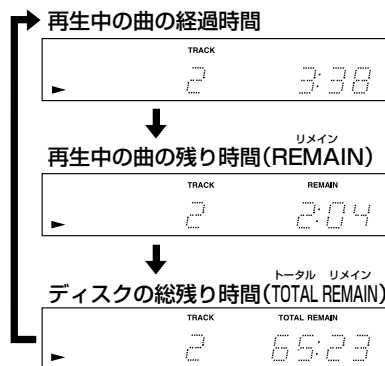
再生中の曲の経過時間

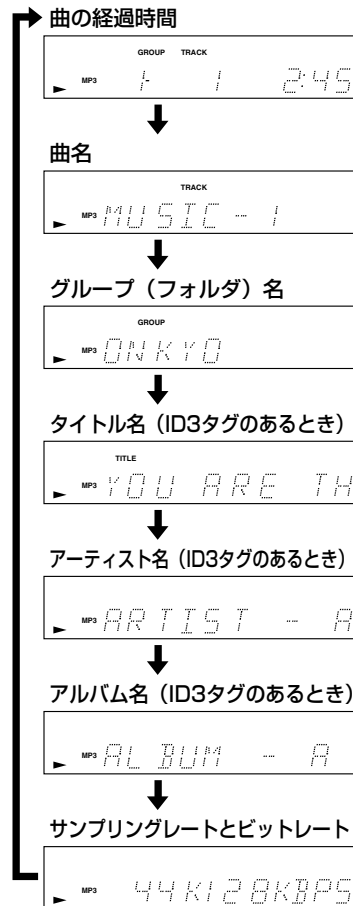
TRACK
► 2 3:38

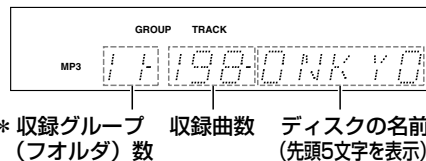
再生中の曲の残り時間（REMAIN（リメイン））

TRACK REMAIN
► 2 2:04

ディスクの総残り時間（TOTAL REMAIN（トータル リメイン））

TRACK TOTAL REMAIN
► 2 65:23

MP3の表示について

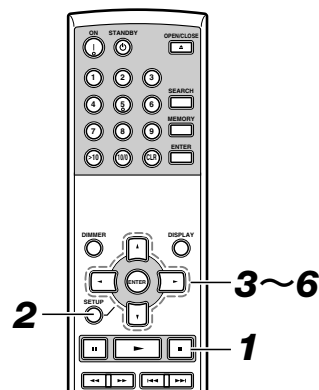
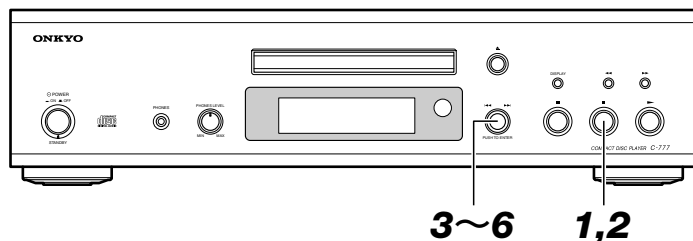
MP3ディスク再生中はDISPLAYボタンを押すたびに以下のように切り換ります。

MP3ディスク停止中は、以下のような表示になります。DISPLAYボタンを押すと、ディスク名表示に切り換わります。

＊収録グループ（フォルダ）数　収録曲数　ディスクの名前（先頭5文字を表示）

＊GROUP（グループ）表示はフォルダを表します。

- 表示できない文字を含んでいるときは、「TRACK（トラック） *」、「GROUP（グループ） *」(*は曲番/グループ（フォルダ）番号）と表示されます。
- 表示できない文字を下線で表示するように設定することもできます。（☞24ページ）

設定をする

各種設定をする

本機の音声、表示、MP3ディスクに関する設定ができます。

1

再生を止める

- 全グループ（フォルダ）数、全曲数表示状態にしてください。
- メモリーモードになっているときは、解除してください。

2

表示部に「SETUP MENU」を表示させる

本体の■ボタンを表示部に「SETUP MENU」の表示が出るまで押し続けます。

- リモコンでは、SETUPボタンを押します。

3

⏮/⏭ダイヤルを左右に回し、設定したい大項目を表示させ、⏮/⏭ダイヤルを押す

- リモコンでは、▲/▼ボタンを押して大項目を表示させ、ENTERボタンを押します。

4

⏮/⏭ダイヤル左右に回し、設定したいタイトルを表示させ、⏮/⏭ダイヤルを押す

- リモコンでは、▲/▼ボタンを押してタイトルを表示させ、ENTERボタンを押します。

大項目の表示に戻るには

本体の■ボタンを押します。

- リモコンでは、◀ボタンを押します。

5

⏮/⏭ダイヤル左右に回し、項目を選択する

- リモコンでは、▲/▼ボタンを押して項目を選びます。

タイトル表示に戻るには

本体の■ボタンを押します。

- リモコンでは、◀ボタンを押します。

6

⏮/⏭ダイヤルを押す

設定を終了します。

- リモコンでは、ENTERボタンまたはSETUPボタンを押します。

■設定メニュー一覧表

＊印は再生中、メモリーモード時でも設定可能です。
項目の下線は、お買い上げ時の設定です。

設定をする

AUDIO設定

DIGI OUT（デジタル出力）

デジタル出力のオン/オフを切り換えます。
アナログ音声を再生時にデジタル出力をオフにすると、より高音質でお楽しみいただけます。

FILTER（デジタルフィルター特性切り換え）*

ＤＡ変換処理の際のデジタルフィルターの特性を切り換えます。それぞれのフィルター特性で変化しますので、お好みの方を使用してください。

SHARP（シャープロールオフ特性）：
20kHzまでの帯域内の特性をほぼフラットに出力させることができます。

SLOW（スローロールオフ特性）：
入力波形の再現性に優れており、音楽信号の微妙なアタック感及び楽器の定位感の再現に優れています。

ご注意

- この設定は、アナログ出力のみ有効です。
- 効果がない場合は、お買い上げ時の設定「SHARP」でご使用ください。

PHASE（アナログ出力位相切り換え）*

音声出力の位相を切り換えます。
接続しているアンプ、スピーカーが最適な音質になるように、お好みで設定してください。

NORMAL（正相）：
CDに記録されている波形をそのままの極性で出力します。

REVERSE（逆相）：
CDに記録されている波形とは逆の極性で出力します。

ご注意

- この設定は、アナログ出力のみ有効です。
- 効果がない場合は、お買い上げ時の設定「NORMAL」でご使用ください。

CLOCK ADJ（クロック調整）*

音声処理の基準となるクロックの微調整を行います。
通常は「0」の位置(お買い上げ時の設定)で使用してください。
ディスクにより、音像のピントが合わないような場合、くっきりとした音像(音場）にすることができます。再生しながらクロック調整し、お好みで設定してください。

＋**：工場での設定値に対して、クロック周波数が高くなります。

－**：工場での設定値に対して、クロック周波数が低くなります。

ご注意

- ＋/－40ステップまで設定できます。
- 効果がない場合は、お買い上げ時の設定「0」でご使用ください。

DISPLAY設定

DISC NAME（ディスク名）

MP3ディスクのとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。

DISPLAY：ディスク名を表示します。

NOT：ディスク名を表示しません。（MP3と表示されます。）

GROUP NAME（グループ名）*

MP3ディスクのとき、グループ名（フォルダ名）をスクロール表示するかどうかを設定します。

SCROLL：グループ名（フォルダ名）をスクロール表示します。

NOT：グループ名（フォルダ名）をスクロール表示しません。

TRACK NAME（トラック名）*

MP3ディスクのとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。

SCROLL：曲名をスクロール表示します。

NOT：曲名をスクロール表示しません。

HIDE NUM

曲名やグループ名（フォルダ名）の先頭に数字がある場合、表示させるか、させないかを設定します。

YES：表示させません。

NO：表示させます。

BAD NAME

曲名やグループ（フォルダ）名に、表示できない文字が含まれているときの表示のさせかたを設定します。
ID3タグ情報については設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。

REPLACE：「TRACK＊」や「GROUP＊」(＊は曲番/グループ（フォルダ）番号）という表示に置き換えて表示させます。

NOT：表示できる文字は表示し、できない文字は下線で表示します。

＊印は再生中、メモリーモード時でも操作することができます。

EXTRA設定

ID3 VER1

ID3 Version1.0/1.1のタグ情報の表示について設定します。

READ：情報を読み込んで表示させます。
NOT：表示させません。

ID3 VER2

ID3 Version2.3/2.4のタグ情報の表示について設定します。

READ：情報を読み込んで表示させます。
NOT：表示させません。

CD-EXTRA

CD-Extraディスクの再生について設定します。

AUDIO：音楽データを再生します。
MP3：MP3データを再生します。

JOLIET

JOLIET形式で記録されたMP3のSVD(Supplementary Volume Descriptor)データを読み込むか、ISO9660形式として読み込むかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。SVDは、アルファベットと数字以外に、長いファイル名/グループ（フォルダ）名や文字をサポートしています。

USE SVD：SVD（Supplementary Volume Descriptor）データを読み込みます。
ISO9660：ISO9660形式として読み込みます。

JOG MODE*

本体の|◀◀/▶▶|ダイヤルを押して開始するMP3 CDの検索方法を切り換えます。

GROUP：|◀◀/▶▶|ダイヤルを押すと、グループモードに入ります。
NAVI：|◀◀/▶▶|ダイヤルを押すと、ナビゲーションモードに入ります。

INITIALIZE設定

各設定をお買い上げ時の設定に戻します。

CANCEL：操作を中止するときに選びます。
EXECUTE：各設定をお買い上げ時の設定に戻します。

＊印は再生中、メモリーモード時でも操作することができます。

各設定をお買い上げ時の設定に戻す

1. 再生を停止する
- 全グループ（フォルダ）数、全曲数表示状態にしてください。
- メモリーモードになっているときは、解除してください。

2. 表示部に「SETUP MENU」と表示されるまで、■ボタンを押し続ける
リモコンでは、SETUPボタンを押します。

3. |◀◀/▶▶|ダイヤルを左右に回して、「INITIALIZE」を表示させ、|◀◀/▶▶|ダイヤルを押す
リモコンでは、▲/▼ボタンを押して、ENTERボタンを押します。

4. |◀◀/▶▶|ダイヤルを左右に回して、「EXECUTE」を表示させる
リモコンでは、▲/▼ボタンを押します。
INITIALIZE操作を中止するときは、「CANCEL」を表示させます。

5. |◀◀/▶▶|ダイヤルを押す
リモコンでは、ENTERボタンを押します。
各設定がお買い上げ時の設定に戻ります。本機にディスクが入っているときは、ディスクの読み込みをやり直します。

困ったときは

まず下記の内容を確認してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電　源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。〔13ページ〕
- 本機がスタンバイ状態のときは、リモコンのONボタンを押して、電源をオンにしてください。〔14ページ〕

ディスクの再生

ディスクの再生ができない

- ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？
  ディスクの印刷面を上にしてディスクトレイに置いているか確認してください。〔14ページ〕
- ディスクは汚れていないか確認してください。〔12ページ〕
- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。〔11ページ〕
- 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。〔12ページ〕

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。〔18～20ページ〕

選曲時間(指定の曲を探し出す時間)が極端に長い

- ディスクが汚れていませんか？ディスク表面をクリーニングしてください。ディスクにキズがある場合、ディスクを取り替えてください。〔12ページ〕

曲をメモリーさせることができない

- ディスクは正しくディスクトレイにセットされていますか？ディスクにない曲番をメモリーさせようとしていませんか？〔18ページ〕

メモリー再生/解除ができない

- ランダム表示は点灯していませんか？RANDOMボタンを押してランダム再生を解除してからメモリー再生/解除を行ってください。〔20ページ〕

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

音　声

再生しているディスクの音声が出てこない

- 接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。〔13ページ〕
- 接続した機器の入力端子や入力設定を間違えていないか確認してください。
- アンプのボリュームが最小になっていないか確認してください。
- セットアップの「DIGI OUT」の設定が「OFF」になっていると、デジタル音声は出力されません。〔24ページ〕

雑音が出る

- 他のデジタル機器から影響を受けている可能性があります。一度、周辺機器の電源スイッチを切って、雑音源を確かめてみてください。そのうえで本機を雑音の出る機器から離してください。

各種設定

表示されない設定項目がある

- 停止中でも曲が選択されているときは、■ボタンを押して本機を完全に停止状態にしてください。〔22ページ〕

リ　モ　コ　ン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない

- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。〔10ページ〕
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？〔10ページ〕
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？〔10ページ〕
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、正常に機能しないことがあります。〔10ページ〕

表示されるメッセージについて：

NO DISC　：ディスクが入っていない/ディスクの読み込みができなかった　　FULL；25曲を越えて予約しようとした

- **本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約10秒以上放置してから電源プラグを接続してください。**

- **製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。**

主な仕様

周波数特性	2Hz～20kHz
SN比	111dB
ダイナミックレンジ	100dB
全高調波歪率	0.0027%
出力電圧/インピーダンス	−22.5dBm（光デジタル出力） 0.575p-p/75Ω（同軸デジタル出力） 2.0V（rms）/470Ω（アナログ出力）
電源・電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	16W
待機時電力	0.2W
最大外形寸法	435（幅）×111（高さ）×405（奥行）mm
質量	8.9kg
許容動作温度/湿度	5～35℃/5～85%（結露のないこと）
再生可能ディスク	音楽CD、CD-R/CD-RW*、MP3 CD

＊ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。
仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　C-777
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について
詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名：

Tel. ( )

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

G0509-1

SN 29344145